

# とやま倫理通信

## 2011年2月

富山市倫理法人会  
事務局  
〒930-0992  
富山市新庄町1-19-2  
電話 076-441-1577  
FAX 076-441-1581  
メール info@rinri-toyama.com

モーニングセミナーは、  
毎週木曜日6:00~7:00  
とやま自遊館 3階  
モーニングセミナーの詳細は、  
ブログをご覧ください。

富山市倫理法人会

検索

今年以降雪が続き、家の庭にもまだかなりの雪が残っています。たしかに降雪量は多かったのですが、一晩に降り積もった量はさほど多かつたかというときほどでもなかつた気がします。それよりも、ほぼ毎日降り続いたことが大きかったように思えます。

「継続」の力を自然から学んだように思えます。毎日・毎週取り組むことの積み重ねが、会社や自分を形造っていくのでしょうか。日々の行動と週の行動のリズムを保っていきましょう。

会長 中村慎一

1月のモーニングセミナー報告  
1月6日 モーニングセミナー  
新年式

国歌斉唱  
理事長「年頭のご挨拶」代読  
会長挨拶

役員・会員の決意発表  
富山市倫理法人会顧問 長勢

甚遠衆議院議員の決意発表をはじめ、会員11名の決意発表があり、それぞれの方の発表から学び、同感し、刺激されました。最後は、誓いの言葉で新年式を締め括りました。



1月13日モーニングセミナー  
日本習字富山三生書会主宰  
富山市倫理法人会相談役  
笠波 健二 法人レクチャラー  
テーマ

「ちようど良い世界とは・・・」  
日々の生活の中で求めているものは、結局は自分に都合の良い環

境ばかりではないか。しかし「絶妙の世界」というものがある。

例えば野球。もしベースの距離が違ったり、フ

ェンスまでの距離が変わったら、全く

変わってしまうのではないかと。人間の限界のちようどよい規格・ルールで行われている。他のスポーツも同じ。

他にも、湯加減、料理のさじ加減、芸術・職人の手加減など、多々

挙げることができると。そう考えると、会社の成長ということにも

うした加減が考えられるのではないかと。いつまでも増収増益を追求し続けることが可能だろうか。あまりにそうした事ばかり追い続けると横道にそれてしまうことも。

一方で本業をかたく守り、品質・信頼でゆっくりと成長を継続している老舗もある。現代は経済

優先が行き過ぎて失ったものがあるのでは。もう少しおだやかに、そこそこの生活でそこそこにモノ

が売れる世界もいいのではないかと。「知足」という日本人の精神がある。なんでも前へ前へ、改善、成長ばかりでなく、時には振り返ることも必要。アスリートにも勝

利や成長をさせてフォーム改善し、つぶれる例が多数ある。イチローは、毎日同じ練習を繰り返しながら、フォームの変更はほんのわずかで高いレベルを維持している。

仕事ばかりで成長ばかり追いかけていると健康に問題がでる。バランスが大切。そうしたバランスをとることを学ぶのも倫理の大切な一部。モーニングセミナーは、



週に1回の心の洗濯日。服を洗濯するならば、心も洗濯が必要。最後に、究極の「ちようど良い世界」とは、「地球の位置」太陽から遠からず、近からず。この存在を知って感謝して生活することではないだろうか。

1月20日モーニングセミナー

(株)こまつ自動車学校常務取締役

小松市倫理法人会副事務長

河越 邦夫 法人レクチャラー

テーマ「倫理と運転について」

18歳で免許をとったその日に

スピード違反。これからは気をつけようと思いな

がら、2年後の忘れたころにまた

違反。これが最後の違反に。

分かっていて

も忘れてしまう

事が多い。モーニングセミナーは心の洗濯。毎週参加することが大切。平成18年に倫理法人会に入

会し、頼まれた事は全て引き受けていたら、平成20年に会長とな

った。会長を引き受けることで世界が変わった。ぜひ、役職を頼ま

れたらみなさんも引き受けてほしい。

人間が変わる方法は三つしかない。

1. 時間の使い方を変える

2. 住む場所を変える

3. 付き合う人間を変える。

モーニングセミナーに参加することは、上記の1と3が同時に行

える。もっとも無意味な事は「決意を新たにすること。行動を具

体的に変えないと何も変わらない。



1月27日モーニングセミナー  
(株)新日本コンサルタント  
代表取締役 市森 友明 様  
テーマ「逆風下の公共事業と建設コンサルタントについて」  
建設コンサルタントという仕事は、戦後に生まれた。社会資本の施工にいたるまでの、企画や調査・計画・設計・施工管理などを行政のパートナーとして携わる。現在の公共事業費は、ほぼ30年前と同額までに削減されているが、GDPは3倍に伸びている。近年は日本のGDPは伸びていないが、社会保障費は毎年増加している。財政問題として公共事業が主要因のように取り上げられるのは不適切だと思っている。公共事業費の削減額以上に、毎年社会保障費が増えている事実をどう考えるのか。社会資本も、先進諸国との比較をキチンとデータをそろえて行くと、日本は決して突出はしていない。それどころか不十分なくらい。各国はこのデフレに際して公共投資を増加したなかで、日本だけが実施せずにGDPの伸びが止まっている。あわせて、港湾の国際競争力が低下するなど、経済への打撃が現実化している。公共事業へのパッシングは、国民のしつかりと、現状に向き合って考える必要がある。



詳細なデータを提示して話される業界の実態は、経済活動に携わる私たちにあって、マスコミだけに頼って判断することなく、しっかりと自分で考えなければならぬ事柄だと実感します。